



## 『私の大学生活』

掲示期間 H-23-173  
2月3日～17日

この件に関する問い合わせは広報課へ

河野 大樹さん 電子情報工学科 4年 (宮崎工業高出身)



福岡工業大学での学生生活を振り返ってみると、何事にもがむしゃらに取り組んできたように思います。大学入学時は、絶対に英語がしゃべれるようになりたいと、専門分野の学習に取り組みながら英語学習をしました。アルバイト、専門分野の勉強、英語勉強と、時間を見つけ学習していくのは大変苦勞しましたが、海外長期交換プログラム選抜を目標に取り組みました。また、生きた英語をしゃべれるようにとインターネットを通じて海外の友達をつくりコミュニケーションを積極的にしていました。

また、モチベーションをキープするために、英語を勉強している人のコラムを雑誌で読み、ライバルは会社勤めの社会人だと言い聞かせていました。

私にとって、留学から帰ってきた本学3年の時期が一番辛い時でした。大学生活での一つの目標である長期留学を果たし、英語も一通り話せるようになり、自分の中での目標を達成し満足してしまった時期でした。自分のやりたい事がなかなか見つけられずにいました。それでもインターンシップに参加したり、英語でのディスカッショングループに参加したりと行動だけは積極的に起こしました。就職活動を前に、将来はどのような事をしていきたいのか本気に考えさせられるようになり、その中で人種・年齢を問わずいろいろな人に出会えた事が私の刺激になり、またそれが財産にもなっています。そのような経験からいろいろ考えた末、将来は技術者としてグローバルな環境で仕事をしたいと決意し、就職活動に取り組みました。就職活動中、悩む事が多々ありましたが、自分を信じ、悩む事もプラス思考で活動していたように思います。

これからは、フィールドエンジニア、研究職とステップアップしていき、グローバルに技術者としてやっていく、これが私の目標です。将来、何がおこるか全く分からないのですが、目の前の事を一つ一つ全力でこなしていき、ゆくゆくは人のために、日本のためにと何らかの貢献をしていきたいと思っています。夢はでっかく、子供のように純粋に今やっている事を楽しんでいきたいです。

最後に、本学、姉妹校 CSUEB 校の教授、事務員、関係者の方たち、友人、そして家族等のサポートしてくださった方々に心より感謝しています。

本学での活動：・2008年海外英語研修(米国)に参加[2年次]・2009年FINEプログラム(福工大特別留学プログラム)で留学(米国)[3年次休学にて]・2010年国際交流サポーター登録[3年次]・鹿児島大学主催 海外インターンシッププログラム参加(3年次夏季休暇)  
就職内定先：最大手の半導体・太陽電池製造装置メーカー